

新聞部 文部科学大臣賞受賞



8年ぶりに掴んだ栄冠

▲緊張のなか賞状を受け取る馬場さん

授賞式にあたって東京都を訪れた部員は、朝日新聞東京本社で学校教育に関する問題を専門的に取り上げられている、編集委員の岡真弓さんから取材を受けた。本校新聞第482号で学校教育特集のチーフを務めた明

3月8日に東京都の朝日新聞東京本社読者ホールで第48回全国高校新聞コンクールの表彰式が行われ、全国一位相当の文部科学大臣賞を受賞した本校新聞部から部長の馬場千瑳さん(2-3)、副部長の明日海斗君(2-7)、編集長の中嶋大智君(2-7)が参加した。表彰式の前には朝日新聞東京本社の見学やさまざまな取材が行われ、充実した内容となった。

授賞式に当たって東京都を訪れた部員は、朝日新聞東京本社で学校教育に関する問題を専門的に取り上げられている、編集委員の岡真弓さんから取材を受けた。本校新聞第482号で学校教育特集のチーフを務めた明

部長の馬場さんは授賞式を振り返り「今回の受賞は、日々の積み重ねが評価されたものと明かした。

今回のコンクールでは、平成29年11月1日から平成30年10月31日までの期間に発行された新聞が評価された。受賞にあたり、本校新聞第482号に掲載した多彩な特集記事のほか、本校生徒の活躍を取り上げた報道記事や東日本大震災の発生から継続して福島を取り上げている連載『福島をつなぐ』、年間200号以上の発行部数を誇る速報新聞キマグレの内容などが高く評価された。

編集長の中嶋君は「長年先輩方が目標とされてきた賞を取ることができ、本当によかった。今までこのコンクールを開催してくださった関係者の方々にはとても感謝している」と顔をほころばせた。

その後表彰式を終えた部員は文部科学省を訪れ、高等教育局大学振興課で大学入試室長を務められている山田泰造さんへの取材を行った。再来年に迫る大学入試改革に対し、高校生の立場から見た疑問点などを質問し、入試に関する考えを深めた。

「この全国高校新聞コンクールは今回でいったん終了となる。自分たちの悲願を、コンクール最後の年に達成できたことが本当にうれし



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号



▲表彰式前には日本橋ふくしま館を訪れ、取材を行った。